

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

黄斑円孔術後の円孔内グリア組織に関する研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 眼科 (研究責任者) 岩崎 将典

<研究期間>

承認日 ~ 令和 6 (西暦 2024) 年 12 月 31 日

<研究の目的と意義>

ものを見る中心である黄斑という部分に網膜の穴が開いてしまう、黄斑円孔という病気が起きることがあります。そのまま放置すると円孔は拡大し、視機能も大きく障害されます。硝子体手術により治療しますが、その際に黄斑円孔周囲の内境界膜という網膜表層の膜を処理し、さらにガスを注入して手術を行います。円孔はグリア組織によって穴埋めされて閉鎖されます。ただし、グリア組織が著明な場合は網膜外層回復が阻害される可能性があります。術式間でグリア組織の大きさおよび視力への影響に違いがあるかを調べ、より良好な視機能につながる治療法を調査する。

<利用する試料・情報の項目>

診療録より診断名、年齢、性別、手術日、観察期間、視力、眼圧、水晶体状態、屈折、眼軸帳、光干渉断層計所見、手術記録、治療方法、転帰の情報を使用いたします。

<対象となる方>

2015年1月1日から2024年12月31日の期間に眼科で黄斑円孔の治療を開始された方

<研究の方法>

対象となる患者様の診療録の情報を取得し解析する

<外部への試料・情報の提供の方法>

外部への試料・情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さん等の情報(氏名やIDなどの個人情報)は数字や記号などコードを付して作成し、患者さん等個人と結びつかない状態で取り扱われます。

<研究組織>

主機関 日本大学病院医学部附属板橋病院 岩崎将典ほか

共同研究機関 日本大学病院 中静裕之

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

眼科 氏名：岩崎 将典

電話：03-3972-8111 内線：(PHS) 8313